

11/5
赤旗



再稼働に同意しないよう伊藤祐一郎知事に求める緊急署名を提出する井上森雄筆頭代表委員。4日、鹿児島県庁。

川内再稼働同意しないで

県民の会 知事に緊急署名提出

鹿児島

鹿児島県の九州電力川内(せんたい)原発の再稼働に反対する「原発ゼロをめざす県民の会」は4日、伊藤祐一郎県知事に対し、再稼働に同意しないよう求める6317人分の緊急署名を提出しました。知事が招集した5日からの臨時県議会前に提出しようとして、2週間余りで集めたものです。

井上森雄筆頭代表委員

「川内原発の再稼働は、国が他の原発の審査を簡略化し、全国の新設再稼働の突破口となると危惧している。鹿児島だけの問題ではない」として「署名の重みを知事は受け止めてほしい」と要請しました。

「会」のメンバーらは「知事は宮沢洋一経産大臣と会談したが、なぜ急ぐのか。県民は十分な説明を望んでいる」「またたく間に再稼働に突き進んでいく。住民説明会以降、避難計画についてますます不安だ」「福島原発事故は収束していないことを認識しているのか」との声が次々と上がりました。

同日、県母親大会連絡会(上村さよ子会長)も、再稼働に反対し、自然エネルギーへの転換などを求める申し入れをしました。

いずれにも日本共産党のまつさき真琴県議

が同席しました。

県東京事務所にも市民の会も要望

原子力規制を監視する市民の会は4日、「川内原発再稼働への『地元同意』を絶対に強行しないでください」とする伊藤祐一郎鹿児島県知事あての要望書を、同県東京事務所に提出しました。

所要望書は、知事が7日の臨時県議会での「同意」を強行しようとしていることに抗議。再稼働は「様々な観点から到底あり得ない」としています。

所要望書は①原発への火山噴火対策②避難計画の違法性③「被害地元」となる可能性が極めて高い30キロ圏内の自治体に、再稼働への同意権が与えられるべきだと指摘。いちぎ串木野市、日置市、始良(あいら)市で住民過半数に及ぶ再稼働に反対する署名や意見書が採択されていることに触れ「知事はこうした声を今こそ真摯(しんし)に受け止めるべきです」と主張。「同意」強行は、住民の命を守らなければならないべき自治体の責務を放棄したも同然であり、知事としての資格そのものを疑われるべき事態です」と批判しています。